



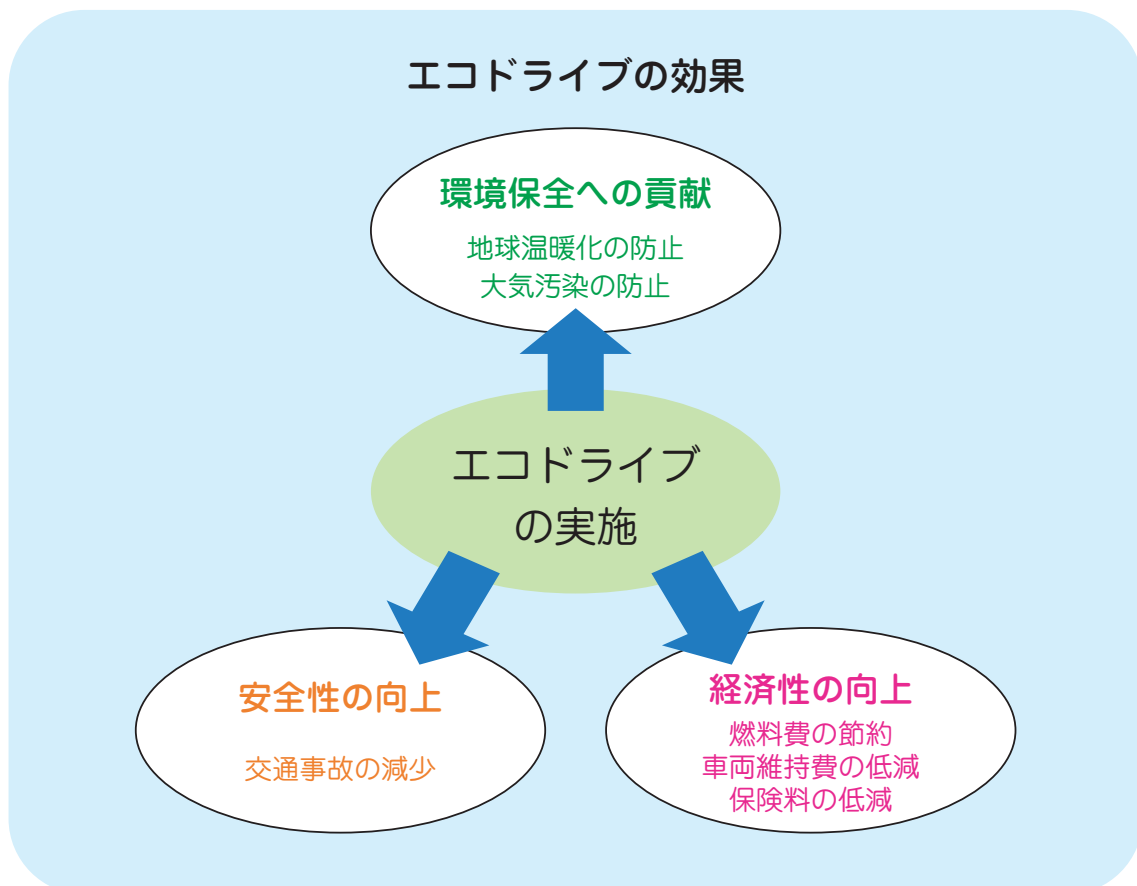
エコドライブの目的

(1) エコドライブの役割

エコドライブは、2005年4月に閣議決定された「京都議定書目標達成計画」において、「環境に配慮した自動車使用の促進」施策の一つとして位置づけられ、国民一人一人のレベルでも簡単に取り組むことができることから、京都議定書終了後も地球温暖化防止の重要な対策として期待されています。

(2) エコドライブの効果

エコドライブを実践することで、「環境保全への貢献」、「安全性の向上」、「経済性の向上」など、様々な効果を期待することができます。



① 環境保全への貢献

軽油の使用を1リットル減らすと、二酸化炭素の排出量は2.58kg少なくなります。
また、排出ガスに含まれる大気汚染物質も同時に減らすことができます。

<例>

大型車1台の年間排出量（年間走行距離7万km 燃費3km/lの場合）

→ 約60t

一般家庭1世帯当たりの年間排出量（約6.2t）の約10倍

燃費を10%向上させると1世帯分の排出量を削減

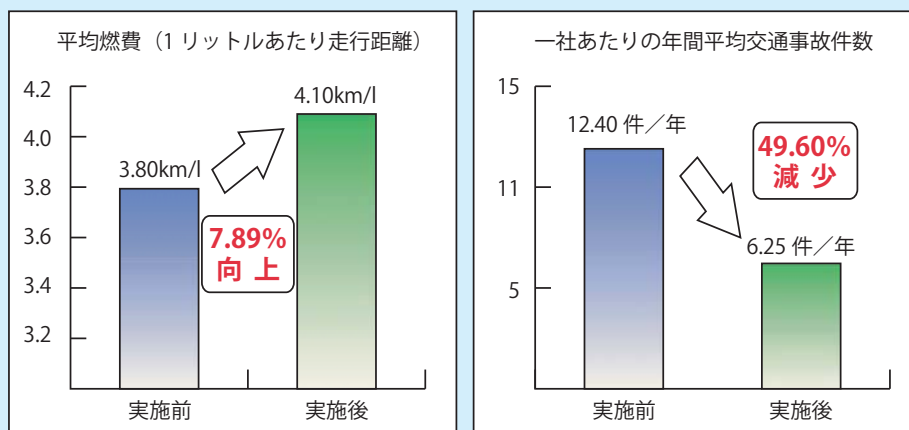
② 安全性の向上

エコドライブの基本は穏やかに運転することなので、**交通事故の減少**にもつながり安全性の向上に寄与します。

③ 経済性の向上

燃料費の節約となるだけでなく、タイヤやブレーキパッドの摩耗減少による**車両維持費の低減**や、**交通事故の減少による自動車保険料の低減**等の、経済性の面でも効果があります。

エコドライブ実践による燃費向上と事故減少の成果



※トラック運送業者を対象とした調査（会社数20社、車両総数1650台）出典：(株)アスア エコドライブ事業部資料より